

||就任のごあいさつ

栃木県薬事工業会長
佐藤 忠男



この度、薬事工業会の会長を務めさせて頂く事になりました、佐藤 忠男でございます。

薬事工業会は、医薬品・医薬部外品・医療用具・化粧品等を主とした業界が県薬務当局のご指導、ご支援を基盤として運営され、平成9年度においては我が栃木県が医薬品の生産高全国5位、医療用具の生産高全国第2位に位置する迄になり、医療関連産業が、県産業界においても重要な位置を占める存在になって来た事は、歴代の関係各位のご尽力と県薬務当局よりのご支援の賜物と思います。

今年度、創立25周年を迎える年に、会長就任という事でその職務の重さと役割の大変さを痛感している次第です。

さて、今年度の業界をとりまく諸問題は、まず11年3月GMP講習会においても実施したコンピュータ2000年問題があります。あと何百日で必ずくるわけですが、人の命に関わる製品を製造している会員会社が多い工業会としては重大な関心事です。

次に薬価基準制度の改革があります。先般、日本型参照価格制が政府与党の自民党より見直しの発表がありましたが、どの様な制度になるのか気になる問題です。

この様に、今年度も景気低迷と併せて難問題が続きますが、会員相互の研鑽と親睦を大事にし、同時に研薬務当局の暖かいご指導とご鞭撻を切にお願いいたし、もとより浅学ではありますが、何とかお役に立ちたいと考えております。

皆様のご支援よろしくお願ひいたします。

||辞任のごあいさつ

栃木県薬事工業会前会長
石橋 嘉一郎



この度、平成11年度の総会を持ちまして退任させて頂くことに成りました。この間、1年弱の短い期間ではございましたが、副会長の佐藤様、松谷様を始めとする理事会の皆様と会員の皆様のご支援、ご協力、そして事務局長でもある小林課長様を始めとする県の薬務課の皆様のご指導、ご援助に深く感謝いたします。

医療関連市場の国際化が進むなか、全国で5位の医薬品生産額と、全国で第2位の医療用具生産額を占める栃木県薬事工業会が今後も益々発展する事が、会員各社にとっても、また、栃木県にとっても必要であります。そのためには、会員各社の更なる資質の向上と加入率の増加が重要です。

本会が佐藤会長の下、県との連携を更に深め、会員相互の親睦と融和を計る中で、お互いに資質の向上に務め、益々発展することを願っております。

平成11年度定期総会開催

平成11年4月19日(月)アピアにて

石橋会長挨拶

皆様、本日は4月の年度始めのご多忙の中を、総会に御出席頂き誠に有り難うございます。

日本経済は若干明るさを取り戻しつつありますが、それでも非常に厳しい状況が続いています。また、私たちの薬事工業会を取り囲む経済環境を見ましても、医薬品関連市場の国際化が急速に進むなか医療産業ビックバンの時代を迎え、会員各社それぞれにご苦労をされている事と存じます。このような時代であればあるほど、会員相互の情報交換と親睦を大きな目的の一つとする薬事工業会の重要性は益々増大すると思われます。

本会の更なる発展のために会員各社の益々のご支援・ご協力と、県の薬務課の皆様を中心とする保健福祉部の益々のご指導をお願いして、簡単ではございますが会長のあいさつとさせて頂きます。



優良従業員表彰式

総会終了後、優良従業員表彰式典を行いました。

11年度は、昨年度より3名多い、23名の方が表彰されました。

勤続30年以上

東京田辺製薬(株)

東芝メディカル製造(株)

宇都宮化成工業(株)

宇都宮化成工業(株)

東京田辺製薬(株)

中外製薬(株)

岩井 英夫

五十嵐和利

飯野 通夫

増渕 正

上野 敦弘

面川敬一郎

勤続10年以上

那須ニコン(株)

那須ニコン(株)

那須ニコン(株)

プロクターアンドギャンブルファーマーストインク

プロクターアンドギャンブルファーマーストインク

プロクターアンドギャンブルファーマーストインク

プロクターアンドギャンブルファーマーストインク

中澤 忠

山口 昌樹

斎藤 照男

園部 正

高田 勝成

船山 賢治

町井 真二

勤続20年以上

不二ラテックス(株)

日研化学(株)

日研化学(株)

日研化学(株)

三金工業(株)

三金工業(株)

日本グラクソ(株)

日本グラクソ(株)

日本グラクソ(株)

中外製薬(株)

柏倉 修次

小堀美代子

高崎 弘子

橋本 恵子

石部 聖二

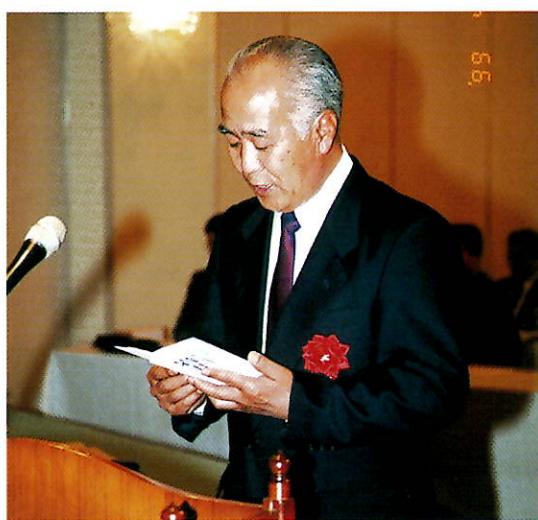
岡田 光男

崎谷 貞夫

手塚 正志

濱崎 嘉昭

石川 敏明



栃木県薬事工業会25周年記念大会

プログラム

第1部 GMP特別研修会

第3部 記念講演会

第2部 記念式典

第4部 創立25周年祝賀会

平成11年7月7日(水)アピアにて

栃木県薬事工業会会長 佐藤 忠男

式 辞

本日はご多忙中にもかかわらず栃木県薬事工業会創立25周年記念大会に県出納長並びに保健福祉部長を初めとして、健康福祉センターの皆様や多数の方のご臨席をいただき厚くお礼申し上げます。第3部においては県企画部長 田嶋 進先生に記念講演をいただく事になっており、まことに光栄と存じます。

つい先年20周年を迎えた記念事業として「創立20周年記念誌」を諸先輩、会員諸氏、県のご協力により発刊できましたことは皆様ご存知のとおりです。早いものであれから5年を経て本日を迎えたわけですが日本人の平均寿命が1982年(昭和57年)に男女とも世界一になって以来、男子77.1才、女子83.8才と伸び最長寿国となって、日本は“少子高齢化”国として推移し、高齢社会へと歩んでいます。

一方、就職したくても就職できないという不景気の中で目標を失ってとまどう若者、バブル崩壊によるリストラにより、失職した中高年者の経営苦による自殺増等、精神的不安の多い時代となっています。この様な時、「栃木いのちの電話」の活動を知りました。人間の生命に関する産業を主体としている薬事工業会の25周年記念行事の一環として相応しいとその趣旨に賛同し、ここに寄付を申し入れた次第です。

薬事工業会を取り巻く環境と将来の展望はどうかというと、21世紀の少子高齢社会に向けての社会保障制度全般の枠組みの見直しや、このための財源の確保と配分のあり方、社会保障制度全般についての抜本的見直しが行われ、これまで医療産業の活動の基軸として運用してきた薬価基準制度の改革が課題とされています。このように時代のニーズはめまぐるしく変わり、時代への対応もいっそう感度の良さを要求される事となり、特に医薬品、医療用具等に負うところが大きいと思います。全国生産額で医療用具 第2位、医薬品 第5位に成長してきた薬事工業会としては今までと同様に県のご支援ご指導をいただき、GMPはもとよりISO9000、ISO14000の認証取得等にも取り組む覚悟です。また、県産業界にも貢献できる団体に成長したいと考えておりますので、皆様の忌憚のない御意見を賜りながら、さらなる前進を続けてまいりたいと思います。

栃木県知事 渡辺 文雄様より、ご祝辞をいただきました。

栃木県薬事工業会創立25周年記念大会が挙行されるに当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

薬事工業会におかれましては、昭和49年の設立以来、会長さんを始め会員の皆様の向上心に支えられながら着実に発展を遂げられ、ここに記念すべき25周年を迎えられましたことは、誠に喜ばしい限りであります。

また、この間、会員の皆様方には本県の薬事行政に積極的に協力され、県政の発展と県民の保健衛生の向上に御尽力を賜り、深く感謝を申します。

さて、昭和18年に薬事法が制定されてから56年が過ぎました。この間、日本の社会経済は飛躍的な成長を遂げ、栃木県の医薬品等の生産も平成9年には医薬品が全国第5位、医療用具が全国第2位と、全国屈指の生産県に発展いたしました。

特に、平成10年間は医薬品業界にとりまして、薬価引き下げ、健康保険法改正等きびしい状況にもかかわらず本県の生産額は伸びている状況です。

これも、会員一人ひとりの皆様のたゆまぬ御努力の結果がなし得たものと深く敬意を表すものであります。

県におきましては、「とちぎ新時代構造計画」に基づき、21世紀に向けた各種施策の推進を図っておりますが、特に急激に進展する少子化・高齢社会に対応した保健医療、福祉への取り組みに力を入れるとともに、次の時代への基礎づくりを着実に行っていく所存であります。

今後とも「県民の皆様と共に考え、共に歩む」を県政の基本といたしまして、一人ひとりが真に豊かさを実感できる、ふるさと“とちぎ”的実現に向けて皆様の一層の御理解と御協力をお願い申しあげます。

結びに、栃木県薬事工業会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



知事祝辞 栃木県出納長 斎藤様

第1部 GMP特別研修会では、「平成10年度医薬品GMP監視指導結果について」と題して栃木県薬務課小林主査から「平成10年度医療用具GMP監視指導結果について」と題して同じく金澤主査からご報告をいただきました。



小林主査



金澤主査

第2部 記念式典では、「栃木いのちの電話」へ寄付をいたしました。

「栃木いのちの電話」理事長田島様から感謝状が贈呈されました。



第3部 記念講演会では、栃木県企画部長の田嶋様に「国会移転等について～はばたく商工業」と題してご講演いただきました。



第4部 創立25周年祝賀会では、保健福祉部長の高松様、医療監の揚松様、第3部にご講演いただいた企画部長の田嶋様にもおいでいただき、盛大に祝賀会を開催いたしました。



栃木県保健福祉部長 高松様

平成11年7月8日
下野新聞

県薬事工業会会長・佐藤忠男は研化学真岡工場長は七日、宇都宮市の結婚式場アピアで創立三十周年記念式典を開催し、関係者約百十人が出席した。同工業会は医薬品、医療機器の製造工場責任者が情勢交換し、品質管理の向上を図る。

この日は式典に先立ち、GMP（製造管理における品質管理の向上）をテーマとする社説的な期待と要求は高まっている」として、一層の意識高揚を訴えた。

県薬事工業会
25周年大会

品質管理向上を

次の方々から記念品等のご提供がありました。

- ・栗飯原 規矩男参与（当日欠席）
- ・花王（株）（当日欠席）
- ・佐野富士光機（株）

ちょっといい話

会員の方たちの投稿コーナーです。
第3回目は、宇津救命丸(株)の歴史

宇津救命丸(株)の歴史

下野の国主、宇都宮家は534年間続いた名門であったが、第22代国綱の時、豊臣秀吉の勘気にふれ城を追われました。この時、宇都宮家の家臣宇津権右衛門は、下野国高根沢西根郷に帰農しました（現工場所在地）。時に、慶長2年10月13日であった。

以来、今日まで宇津家はこの地にあって代々権右衛門を襲名し、名主・取立役となり半農半医の家業の中で「金匱救命丸」を製薬し、現在まで継承してきました。

長屋門 は、宇津家正門に入った所にあり、400年前に建てられた武家屋敷風の建物です。間口は、約25m、奥行き約3mで総茅葺屋根になっており、白壁で出来ています。門の前には、内堀があり屋敷を囲っています。



宇津薬師堂 工場の東南の一画にあり、ご本尊は薬師瑠璃光如来で、日光、月光の両菩薩を脇将とし、12神将を脇侍としておまつりしております。万治2年（1659年）に建立され、敷地内に観音堂もあります。

平成10年2月26日に高根沢町の文化財に指定されました。



観音堂

宇津史料館 宇津救命丸の長い歴史に関するいろいろな資料を集め、親しく皆様方にご覧いただき、宇津救命丸に対してご理解を深めていただく為、昭和47年1月に宇津史料館を設立いたしました。



宇津誠意軒 宇津家の屋敷の一隅の木立の中もあり、幕末までは、当主が斎戒沐浴し「宇津の秘薬」を調合しておりました。その際は、誰も近寄ることが出来なかつたといい伝えられています。

誠意軒は、高床式で東西3間、西北2間（5.4×3.6m）の飾棟付重層付寄棟造りで銅葺くの茶室風です。



うちの看板むすめ



入社3年目の3人を紹介します。

写真左端から

吉沢 真千子さん

今、はまっていることは、ジャニーズのおっかけです。
私が好きなのは、JrとKinKi Kids。休みの日などをを利用して
コンサートへ行ったりして楽しんでいます。
今年の夏には、KinKi KidsのコンサートへGOするので今から
ワクワクしています。

野口 純子さん

血液型はB型。そそっかしいです。
今夢中なのは、愛犬ケンタくんです。もうメロメロです。

高橋 和枝さん

好きな事は、旅行と読書です。
この間は、北海道へ行ってきました。今度は、九州に行きた
いと思っています。

次号は、栄研化学(株)さんです。どうぞお楽しみに！

GMP研修会

去る3月5日に、GMP研修会をアピアにて開催いたしました。

講演内容 1. リスクマネジメント

(株)東芝 松本 浩二

2. コンピュータ西暦2000年問題への対応

(株)東芝 後藤 孝文

3. 医薬品GMP事例集の概要について

薬務課 小林 一彦



(株)東芝 松本 浩二



(株)東芝 後藤 孝文

編集後記

創立25周年という節目の歳に新会長として日研化学(株)佐藤様を迎えることになりました。栃木県薬事工業会のさらなる発展の為に、事務局一同努力して参りますので、今まで同様会員皆様のご指導をお願いいたします。

※電話番号が変更になりました。 028-622-2113 (FAX可)

発行日 平成11年8月1日
発行所 栃木県薬事工業会
宇都宮市戸祭元1-25
栃木県保健福祉会館内
TEL (028)622-2113